

フォローアップ報告書

調査名		17.低炭素地域・国土形成推進調査	
調査主体	幹事府省(庁)局課名	環境省総合環境政策局環境計画課	
	関係府省(庁)局課名等	林野庁森林整備部計画課森林総合利用・山村振興室、国土交通省都市・地域整備局都市計画課、総務省地域力創造グループ地域政策課	
調査地域		静岡市	
調査年度		平成20年度	
配分額		49,379千円	
調査概要	調査内容	地域内で排出する二酸化炭素をできる限り地域内で削減・吸収するため、“二酸化炭素の地産地消”という新たな概念とその実現にむけたプログラムを提案する。本調査では、具体的には地域内の森林資源を活用した取組について検討する。このため、アンケート調査により、住民や企業が森林に対して有しているイメージや森林整備に協力する意向等を把握するとともに、市民を対象としたワークショップを開催し、“森とのきずな”をどのようにして深めていくかについて意見交換を行った。また、国内外の事例調査を行うとともに、学識経験者や専門家等からなる検討委員会等を設置して、“二酸化炭素の地産地消”のために、都市地域及び森林地域に必要な取組等について検討を行った。	
	調査結果(成果)	アンケート調査結果より、森林の持つ非市場価値に対する認識が低いという課題が明らかになったことから、森林が有する目に見えない価値をアピールしていくための「森の価値づくり運動」を展開していくこととなった。また、森林環境再生のための仕組みとして、事業者と森林所有者、管理受託者、行政が協定を結ぶ「森林環境アドプト制度」の導入等を目指すこととなった。	
		調査結果の活用状況	調査結果を受けた具体化
計画	期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の有する非市場価値について、市民が理解を深めるための「森の価値づくり運動」を展開する予定。このため、平成20年度において実施したワークショップを発展させ、市民を対象とした拡大ワークショップを開催し、二酸化炭素の地産地消モデルの周知を図る予定。 ・森林環境アドプト制度等の具体的な検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林環境アドプト制度の運用体制の整備。 ・中山間地域振興策としてエコビレッジについて総合計画への位置づけを検討。 ・「森の価値づくり運動」、「森林環境アドプト制度」等のマネジメント組織の設置。 ・モデルを推進するための市の体制整備。
	21年度	<ul style="list-style-type: none"> ○森の価値づくり運動 ・静岡市が森の価値づくり運動のホームページを開設。 ・静岡市がぬく森プロジェクトのホームページを開設。 ・ぬく森プロジェクトにおいて、森を育み、元気にするためのアイデアや取り組みなどを議論し、プロジェクトプランを作成する市民参加型のぬく森ワークショップが3回開催された。市民、企業、各種団体、クリエイターなど様々な主体が参加し、森の価値を伝えるための6つのプロジェクトプランが取りまとめられた。それぞれにプロジェクトチームが発足し、プロジェクトプランの実行に向けた様々な活動を実施。 ・ぬく森プロジェクトにおいて、ぬく森ワークショップでの検討成果である森の価値を伝えるプロジェクトプランを発表し、二酸化炭素の地産地消モデルを一般に広く伝えるための拡大ワークショップ(シンポジウム)を開催。 ○森林環境アドプト制度 ・静岡市二酸化炭素の地産地消モデル推進委員会により、森林環境アドプト制度の仕組みについて検討を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二酸化炭素の地産地消について、第2次静岡市総合計画において、9つのプロジェクトの一つである低炭素都市創造プロジェクトの中に位置付け。 ・二酸化炭素の地産地消について、中山間地域の総合的な振興策をまとめた静岡市中山間地域総合振興計画に位置付け。 ・森の価値づくり運動及び森林環境アドプト制度を主な取組とする二酸化炭素の地産地消について、静岡市の庁内推進組織である静岡市二酸化炭素の地産地消モデル推進委員会を設置。
	22年度	<ul style="list-style-type: none"> ○森の価値づくり運動 ・ぬく森ワークショップから生まれた6つのプロジェクトチームにより、独自の活動が展開されるなど、市民主導の活動が拡大。 ・ぬく森プロジェクトにおいて、「静岡の森を街で感じること」で森林の公益的価値を市民に知ってもらうことを目的とし、6つのプロジェクトチームごとに活動の成果を展示することによって、市民が森に関することに触れあえる「ぬく森フェスタ 100%森の日」を開催。 ○森林環境アドプト制度 ・静岡市二酸化炭素の地産地消モデル推進委員会により、森林環境アドプト制度の仕組みについて検討が進められ、森林所有者を対象とした説明会を開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二酸化炭素の地産地消について、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく静岡市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)に位置付け。
	23年度	<ul style="list-style-type: none"> ○森の価値づくり運動 ・ぬく森プロジェクトにおいて、ぬく森ワークショップの継続的展開として、森林の公益的価値のうち、木材の炭素貯留機能を都市地域の市民に伝えるために、地域材を活用したモノづくりワークショップを開催。また、街から山へのヒトやカネの流れを作る仕組みについて検討するワークショップを同時開催。 ・ぬく森プロジェクトにおいて、モノづくりワークショップの議論を踏まえ、木材の炭素貯留機能を伝えるため作品を6つのプロジェクトチームごとに制作。これらの作品は、静岡市産材活用推進情報センター「きさきず」第6回企画展において展示され、併せて来場者が製作体験ができるワークショップを開催。 ・ぬく森プロジェクトにおいて、エコビレッジについて検討を実施。 ○森林環境アドプト制度 ・静岡市森林環境アドプト実行委員会により、企業等に対し、静岡市ホームページによる公募、訪問等による支援依頼を実施。 ・静岡市森林環境アドプト実行委員会により、森林環境アドプト事業の趣旨に賛同した企業等に対し、平成23年度静岡市森林環境アドプト企業認定証を授与。 ・静岡市森林環境アドプト実行委員会により、静岡市森林環境アドプト企業に対し、間伐実施による二酸化炭素吸収量の証書を授与。 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林環境アドプト事業を実施する静岡市森林環境アドプト実行委員会を設立。 ・静岡市森林環境アドプト実行委員会により、平成23年度事業として、静岡市内の森林7.8haについて、市内に事業所を持つ12企業からの寄付金による間伐を実施。(本事業における間伐実施による二酸化炭素吸収量は47.5t-CO2/年となった。)
	総括的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度の調査結果を踏まえ、二酸化炭素の地産地消モデルを推進するため、森の価値づくり運動については、市民参加型のぬく森プロジェクトにおいて拡大ワークショップ等が実施され、森林環境アドプト制度については、企業、森林所有者等の協力により静岡市内の森林の間伐が実施されたところである。これらの取組は、都市地域と森林地域を結びつけ、地域内で排出する二酸化炭素をできる限り地域内で削減・吸収しようとするものであり、調査の目的は達成されている。 ・調査に当たっては、環境問題、地域運動、森林等の分野の学識経験者等からなる調査検討委員会において調査の方向性やとりまとめについて検討を行うとともに、調査結果の具体化に向けて、静岡市の関係機関、市民の代表等からなるワーキンググループにおいて静岡市における具体的なプログラム等について検討を行うなど適切に調査を実施した。 	